

【別紙1】

CMS機能要件一覧表

《必須項目》要件区分が「必須」となっているもの

必須項目は絶対要件であり、本業務の委託費用内で実現可能なこと。

(パッケージ標準、オプション、カスタマイズなどの内容は問わない)

※代替案により実現可能な場合は対応欄に「△」を記入し、備考欄に代替案の実現方法を記入すること。

《推奨項目》要件区分が「推奨」となっているもの

推奨項目は、絶対要件ではなく、以下の3つの区分で、実現可否を記入すること。

○：本業務の委託費用内で実現可能な場合

△：代替案により本業務の委託費用内で実現可能な場合（備考欄に代替案の実現方法を記入すること）

×：上記「○」「△」以外の場合（不可能な理由を備考欄に記入すること）

※1つの項目内の要件で、一部のみ「×」となる場合は「×」を記入すること。

※本業務の委託費用内で提案などがある場合は、備考欄に記入すること。

1. 基本要件					
			要求区分	対応	備考
基本要件	1-1	導入するCMSは、過去5年以内に国または地方公共団体において導入実績がある製品で、かつホスティング環境（またはASP方式）によるサイトへの導入実績を1件以上有すること。	必須		
	1-2	CMS利用にあたって、各職員のクライアント端末に特別なアプリケーションなどをインストールすることなく、ウェブブラウザから利用できること。	必須		
	1-3	各職員のクライアント端末から、Google chromeまたはMicrosoft Edgeを通して、ID、パスワード認証にてログインできること。	必須		
	1-4	閲覧者のパソコン機種、OS、ブラウザなどの利用環境に影響されることなく、サイトを閲覧できること。対応ブラウザは、GoogleChrome、Microsoft Edge、Firefox、Safariの最新版で、レイアウトが著しく崩れないように表示できること。また、今後に登場するブラウザについても可能な限り対応すること。	必須		
	1-5	端末台数やユーザー数、ページ数やテンプレート数の増加により、ライセンス料が変動しないこと。	必須		
	1-6	ユーザー全員に個別のID、パスワード（原則として8ケタ以上）を付与できること。	必須		
	1-7	データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで管理すること。	必須		
	1-8	生成されるコンテンツデータ（ページ）については、XHTML1.0 Transitional以上の規格に準拠し、Web標準に配慮した文書構造を持つこと。また、アクセシビリティツールによる、コンテンツの音声読み上げ機能に対応していること。	必須		
	1-9	UTF-8の文字コードに対応すること。	必須		
	1-10	1つのページ内で複数の言語の記述が可能であること。	必須		
	1-11	閲覧者が画面をA4縦型で印刷する際、ブラウザやOSに関わらず内容が損なわれずに印刷できること。	必須		
デザイン	1-12	サイト全体として、統一化されたページデザインとすること。	必須		
	1-13	トップページなどは、HTMLやCSSの知識がある職員（サイト管理者）レベルで、既存の写真や文章の差し替えといったデザインの軽微な修正ができること。	必須		
カテゴリ分類	1-14	カテゴリ分類は、想定される閲覧者（例：入札業者、採用希望者、子どもなど）にとっての使いやすさを優先し、タイトルを見ただけでカテゴリ内のページの内容が想像できるようにすること。	必須		
	1-15	カテゴリ分類ごとにカテゴリトップページを作成すること。	必須		
	1-16	ページ作成時に、掲載するカテゴリ分類を容易に選択できること。なお、1つの記事ページについて複数のカテゴリ分類を登録できること。	必須		
	1-17	作成済みの記事ページを、容易に別のカテゴリ分類に移動させられること。	必須		

2. ページ作成機能					
基本的な仕様			要求レベル	対応	備考
基本的な仕様	2-1	作成者がHTML言語を意識することなくワープロ感覚で記事を作成でき、掲載される画面をイメージできる作成画面であること。	必須		
	2-2	テンプレートをを使用することで、専門知識を持たない一般的な職員でも編集ができ、見出しや段落、表などがタグの知識を持たなくても容易に記事ページに反映できること。	必須		
	2-3	Microsoft Wordと類似したツールバー機能があり、テンプレートを選択することで、統一したデザインの記事ページ作成が可能なこと。	推奨		
	2-4	フォーム入力型のテンプレートも利用できること。	推奨		
	2-5	画像や映像、EXCEL、WORD、PDFファイルをブラウザ上から容易にアップロードできること。	必須		
	2-6	記事ページ作成完了時、必須項目に未入力があった場合、警告を表示しスムーズに修正できること。	推奨		
	2-7	記事ページのレイアウト、および記事内容はコピーして再利用ができること。	必須		
	2-8	同じ記事ページを更新して再度公開を行う際に、以前公開していた記事ページを前バージョンとして管理できること。バージョンの上限数は特に指定のない限りないものとし、また以前のバージョンを再利用することも可能であること。	必須		
	2-9	ファイルの保存時には、必要に応じて任意のファイル名が指定できること。	必須		
	2-10	作成時に操作を誤った場合、その操作の1つ前の状態に戻ることができること。	必須		
	2-11	作成途中の記事ページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。	必須		
	2-12	権限を与えられた作成者は、HTMLのソースコードを直接編集できること。	必須		
	2-13	記事ページ編集画面から入力データの失われる可能性がある画面へ遷移する際に、そのままとどまるか遷移するかの確認メッセージを表示ができること。	推奨		
	2-14	表を新規で作成できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定などが、ソースコードを直接編集することなく、容易に操作できること。	必須		
	2-15	表の見出しを設定した際に、ソースコードを直接編集することなく、見出しの指定範囲を設定漏れしないように防ぐ機能を有すること。	推奨		
画像	2-16	簡易な操作でクライアント端末やCMSサーバ上にある画像を掲載・参照し、変更できること。	必須		
	2-17	CMSサーバ上に全作成者が共通で使用可能な画像の素材集を設置でき、一覧表示の中から選択して使用できること。また、その素材集は、サイト管理者によって追加、削除が可能なこと。	必須		
	2-18	画像に説明やリンクをつけられること。	必須		
	2-19	画像ファイルをアップする際に任意の画像サイズに縮小できること。	必須		
	2-20	リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。	必須		
	2-21	公開前（未承認）の記事ページに対してリンク設定ができること。（新規に作成した記事ページのアドレスが公開前に確認できること。）	必須		
	2-22	すべてのページに文字拡大機能を有すること。	推奨		
	2-23	すべてのページに文字色・背景色変更機能を有すること。	推奨		

動画	2-24	さまざまなサイズやファイル形式で動画の登録・配信が簡単に行えること。	推奨		
記事ページの公開・削除・再利用	2-25	各課の作成者が公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時に記事ページの自動更新ができること。	必須		
	2-26	公開期限は、年月日のほかに15分単位で時間指定できること。	推奨		
	2-27	公開時間を指定しない記事ページの場合は、即時公開の設定が容易にできること。	必須		
	2-28	公開期限を無期限とする設定が容易にできること。	必須		
	2-29	すでに公開されている記事ページを未来の日付で更新する場合は、現在の記事ページを直接編集し日時設定することで、予定の日時に記事ページが自動更新されること。	必須		
	2-30	公開が終了した記事ページは再利用できるようにCMSサーバに保存できること。	必須		
	2-31	CMSサーバに保存されている記事ページを一覧から選択・複写し、新規記事ページを作成できること。	必須		
	2-32	公開が終了した記事ページの一覧を表示でき、一括、または選択してCMSサーバから削除できること。	必須		
	2-33	ページ作成時、作成者IDにあらかじめ設定された促成等に基づき、ページ内の特定の位置に所属、電話番号等の項目を自動挿入できること。	推奨		
プレビュー	2-34	記事ページの公開イメージを、作成・承認の各段階で容易にプレビューできること。また、プレビュー画面からは、容易な操作で作成画面などに戻れること。	必須		
	2-35	当該記事ページからリンクをたどる形で、内部リンク先の記事ページも含めて公開時と同じ状態でプレビューできること。	必須		
	2-36	スマートフォン版ページなど、ブラウザでプレビューできること。	推奨		

3. 自動更新、自動生成機能					
			要求レベル	対応	備考
新着リンク	3-1	記事ページ作成時に、指定する新着情報エリア（トップページ、所属トップページ、カテゴリトップページ、サブサイトトップページなど）へ掲載の有無を設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。	必須		
	3-2	新着情報に掲載した情報は、自動的に掲載した日付の降順で表示され、表示しきれない情報は、新着情報一覧ページに別途表示できること。	必須		
	3-3	指定する新着情報エリア（トップページ、所属トップページ、カテゴリトップページなど）に、「NEW」「新着」などのアイコン表示、および表示期間を設定できること。	推奨		
	3-4	表示項目は、あらかじめ設定した項目を管理者が任意のタイミングで変更することができること。	推奨		
ナビゲーション	3-5	すべてのページにトップページへ戻るリンクを設定し、統一した所定の位置に表示すること。	必須		
	3-6	各ページに、ページタイトルを自動的に引用したパンくずリストを自動生成できること。リストの名称をクリックするとそのページに移動できること。	推奨		
	3-7	各ページにグローバルナビゲーション・ローカルナビゲーションを自動生成できること。	必須		
	3-8	サイトマップを自動生成でき、再編集できること。	推奨		

4. 他のメディア向けサイト					
			要求レベル	対応	備考
スマートフォン用サイト	4-1	パソコンページを作成した際、同時にスマートフォン端末に対応したページも自動作成できること。	必須		
	4-2	スマートフォンで閲覧する際、最適化されたレイアウトで表示されること。	必須		

5. サイト管理者の管理機能					
			要求レベル	対応	備考
基本機能	5-1	複数ユーザーが同時にログインできること。	必須		
	5-2	各担当者や所属部署により、コンテンツのグループごとに編集権限を設けることができること。	推奨		
	5-3	ログインするユーザーIDにより、それぞれの権限に応じた画面が表示されること。	推奨		
	5-4	Web上に操作マニュアルを表示できること。	推奨		
	5-5	作成者は、作成した記事ページを所属部署ごとに集約して表示できること。	推奨		
	5-6	同一ページを同時に別々のユーザーが更新できないこと。あるいは、更新しようとする際に警告が表示されること。	推奨		
サイト管理者の権限	5-7	サイト管理者は、サイト内のすべてのページを編集する権限があること。	必須		
	5-8	サイト管理者は、すべてのページを承認ルートによらないで即時公開できる権限があること。また、指定したユーザーに即時公開（災害発生時の公開など）の権限を与えられること。	推奨		
	5-9	サイト管理者は、カテゴリの追加・変更・削除、記事ページの振り分けができること。	必須		
	5-10	サイト管理者は、すべての記事ページの状態（作成中・承認待ち・公開中・非公開など）を一覧で確認できること。	必須		
ユーザー管理	5-11	サイト管理者は、ユーザーの登録・更新・削除を行えること。	必須		
組織管理	5-12	サイト管理者は、組織情報（部署・施設名、問い合わせ先情報など）の管理ができること。	必須		
テンプレート管理	5-13	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。	推奨		
	5-14	テンプレートは、HTMLやCSSの知識がある職員（サイト管理者）レベルで、修正、追加、削除ができること。	必須		
	5-15	テンプレートの修正があった場合、該当テンプレートを使用しているすべてのページを自動更新できること。	必須		

6. 承認ワークフロー					
			要求レベル	対応	備考

基本仕様	6-1	作成者から承認者への承認ルートがあること。	推奨		
	6-2	承認者が不在の場合、代理承認などの手段によってコンテンツを公開できること。	推奨		

7. その他の機能					
			要求レベル	対応	備考
アクセス解析	7-1	ページごとのアクセス件数、検索キーワードなどが取得できること。	推奨		
	7-2	閲覧者の使用するブラウザ・OS・モニタサイズが集計できること。	推奨		
	7-3	解析結果は、CSVファイルなどで保存・出力できること。	推奨		
	7-4	庁内LANからのアクセスと外部からのアクセスを区別して集計できること。	推奨		
サイト内検索	7-5	キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを配置すること。	推奨		
	7-6	検索結果のページは、サイト内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダー、フッターを表示させ、閲覧者には、別のサイトに移動してしまったという印象を与えないようにすること。	推奨		